

暁斎連続講演会 Part 1

暁斎の仏画 - 特に追悼絵に見る癒しについて

暁斎は、浮世絵師の歌川国芳に学んだ後、駿河台狩野家で修業し「洞郁陳之」の画号をいただいております。本格的な仏画も数多く描いています。今回は、暁斎が描いた仏画を取り上げ、特にその中でも追悼絵である「地獄極楽めぐり図」に込められた想いを芥川賞作家であり臨済宗の僧侶である玄侑宗久先生の眼で読み解いていただきます。

日時：2019年1月14日（月・祝）午後2時～

会場：東京国立近代美術館 講堂

東京メトロ東西線「竹橋駅」（1b出口）下車 徒歩3分

主催：公益財団法人河鍋暁斎記念美術館

参加費：1,000円（申し込み方法は下記参照） 定員：150名

第一部 暁斎の仏画紹介（敬称略）

解説：河鍋楠美（公益財団法人河鍋暁斎記念美術館 理事長・館長）

第二部 暁斎が描いた追悼絵

紹介：曾田めぐみ（東京国立博物館 アソシエイトフェロー）

講師：玄侑宗久（作家・福聚寺住職）

第三部 鼎談



講師：玄侑宗久氏



曾田めぐみ氏



河鍋楠美

申込方法：①河鍋暁斎記念美術館へ電話・メール（下記）へお申し込みいただく

②「チケットぴあ」のサイトでお求めいただく（番号）

公益財団法人河鍋暁斎記念美術館（埼玉県蕨市南町4丁目36-4）

電話：048-441-9780・メールアドレス：kkkb@kyosai-museum.jp